⁵工業大学

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項

運営費交付金			百万円				
研究者数	7	3 名	実用化数		0	件	
窓口	社会連携学	術推進室					
担当者	得丸 雅夫	导丸 雅夫					
TEL	0178-25-8102						
Email	kaikaku@	kaikaku@hi-tech.ac.jp					
産連HP	https://ww	ttps://www.hi-tech.ac.jp/study/					
シーズDB	https://ww	w.hi-tech.ad	c.ip/profile/				

産学連携担当部署の体制

産:	産学連携担当部署			実	務者当たり研究者	新数	
	実務担当者数 9 名				8		
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。						

至:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記	0		
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
4成分カテモ・グラック7市/西	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	1	0.014

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

出願数上位技術分野(2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	E02	水工、基礎、土砂の移送	2
2	A61	医学·獣医学;衛生学	1
3	F23	燃焼装置、燃焼方法	1
4	F25	一	1

外部資金

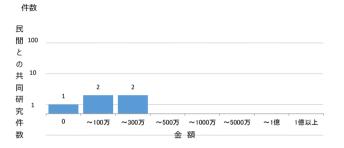
科研費		その他政府系資金	民間資金	
金額		件数	(千円)	(千円)
18,571	千円	24	10,578	47,455

	間接経費割合
Γ	10%以上15%未満

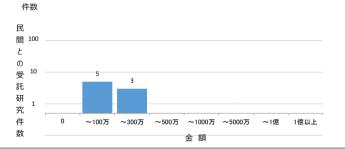
株式の	保有	新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	度	順位※	
■大円训九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	//只位:	順122次
全体	2,897	11	3,300	10		位
民間企業のみ	2,897	7	3,300	5		位
大企業	2,097	5	1,788	3		位
中小企業	800	2	1,512	2		位

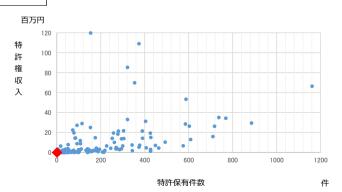
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度		2018年	度	順位※	·.
■又記いれ	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	//尺1江/	順位次
全体	24,393	15	29,281	18		位
民間企業のみ	4,795	4	6,593	8		位
大企業	0	0	2,612	2		位
中小企業	4,795	4	3,981	6		位



特許権実施等件数	1	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	0	0.0



U	R A		URA当たり研究者数	
	実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
	•

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数			社			インキュベー	ション施設	
相談窓口			支援ファンド			有	無	
有	無		有	Ħ	Ħ	部屋数		件
設立ポリシー・推進計画		支援総額(千円)		利用件数		件		
有	無							

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

一工 1 日 た か こ 日 1 1 こ 0 7 こ エ い 1	1 1 Hb 4 2 12C 13 1 22
イベント名	実施時期

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	5	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満
-----------	---	---	------------	------------

昭和女子大学

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項

運営費交付金		百万円						
研究者数	20	8 名	実用化数		0	件		
窓口	昭和リエゾン	昭和リエゾンセンター						
担当者	手﨑真理子							
TEL	03-3411-5234							
Email	liaison-center@swu.ac.jp							
産連HP	https://univ.swu.ac.jp/research/cooperation/							
シーズDB	https://gvo	usekiswu.ac	.ip/swuhp/KgApp					

産学連携担当部署の体制

産:	学連携担当部署			実	務者当たり研究者	数
	実務担当者数	4	名		52	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。						

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記	0		
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
4成2万プロペクマクロル画	未設定	
1		研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

未設定		契約雛形の条項に従う
	研究者あたり	不実施補償を求めない場合がある
0	0.000	原則、不実施補償は求めない
0	0.000	その他
	,	

外部資金

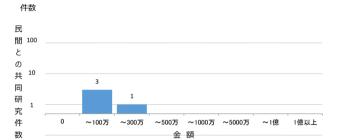
	科研費			その他政府系資金	民間資金
金額 件数		(千円)	(千円)		
	42,341	千円	30	10,912	8,320

間接経費割合
10%未満

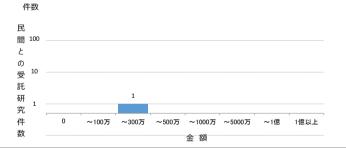
株式の保有		新株予約権の保有	
有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	順位※		
■共内圳九	受入額 (千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位次	×.
全体	840	2	3,240	4		位
民間企業のみ	840	2	3,240	4		位
大企業	840	2	3,240	4		位
中小企業	0	0	0	0		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

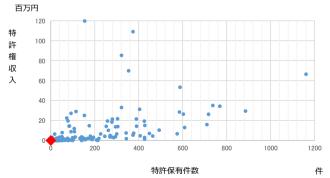


■受託研究	2017年度		2018年度			順位※	
■文武师九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	川東1立 次		
全体	563	2	1,334	3		位	
民間企業のみ	531	1	1,080	1		位	
大企業	0	0	1,080	1		位	
中小企業	531	1	0	0		位	



特許権実施等件数	0	実施等件数点たり
特許権実施等収入(千円)	0	





U R A		URA当たり研究者数	
実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

[※]各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

産学連携へのインセンティブ

主子(生)が、(() 「) こう) 「)	
インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人)	受入	派遣
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

企業とのクロアポ

可能 不可

クロアポ規定	有	無	

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数		社		社	インキュベー	-ション施設					
相談	窓口	支援ファン		支援ファ		ロ 支援ファ		ファンド	有	無	
有	無		有	無	部屋数		件				
設立ポリシー	-・推進計画	支援総額		(千円)	利用件数		件				
有	無										

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

イベント名	実施時期
三茶・子育てファミリーフェスタ2020	2020年6月28日
地方創生プロジェクト会議	2020年9月26日

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満

大阪薬科大学

産学連携推進室を中心に産学官連携活動を一層推進すると共に知的財産管理体制を整備する。

基礎情報

大学の得意分野とその具体例	

産学官連携活動において今後重点化したい事項

産学官との連携を一層強化し、さらなる共同研究や受託研究の推進に取り組む。

運営費交付金	_			百万円			
研究者数		98	名	実用化数		2	件
窓口	臨床教育·研究支援課						
担当者	福永	a永 治久					
TEL	072-6	72-690-1103					
Email	kenkyus@gly.oups.ac.jp						
産連HP	https:/	https://www.oups.ac.jp/research/index.html					
シーズDB							

産学連携担当部署の体制

産:	学連携担当部署			実	務者当たり研究者	 養数
	実務担当者数	2	名		49	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック	0		
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案	0		

※該当する業務は、赤色で表示されます。

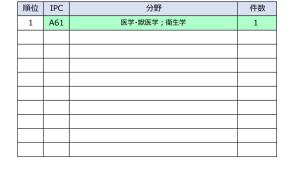
特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
48X373756473V27170729	未設定	
		研究者あたり
特許出願件数	4	0.041
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

	研究者あたり	不実施補償を求めない場合があ
4	0.041	原則、不実施補償は求めない
0	0.000	その他

	0		0.000		
出願数上位技術分野			(2018年公開	用)	



外部資金

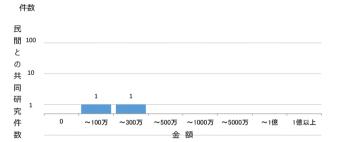
科研費			その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
34,814	千円	39	3,000	20,292

間接経費割合
10%未満

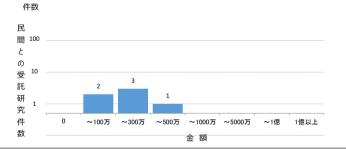
株式の保有		新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	度	順位※	<i>y</i> .
■共円切九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位次	
全体	3,000	2	3,140	2	1	位
民間企業のみ	3,000	2	3,140	2	1	位
大企業	3,000	2	3,140	2	1	位
中小企業	0	0	0	0	1	位

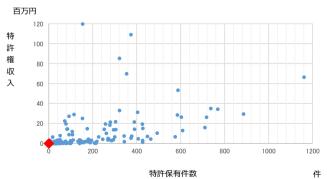
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度	2018年	順位※			
■文武师九	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	/(民/1江)	^
全体	5,260	4	10,552	7		位
民間企業のみ	5,260	4	7,552	6		位
大企業	4,504	3	4,150	4		位
中小企業	756	1	3,402	2		位



特許権実施等件数	0	実施等件数点たり
特許権実施等収入(千円)	0	



U R A			URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

[※]各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
,	

クロスアポイントメントの実績(人)		受入	派遣
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ

組	織的産学連携活動		
	産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
	内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件

ベンチャー支援体制

無

0

汁

支援ファンド

支援総額(千円)

O

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

大学発ベンチャー数

右

相談窓口

設立ポリシー・推進計画

平均(目安)交渉期間 1ヶ月以上3ヶ月未満

インキュベーション施設

実施時期

件

件

有

部屋数

利用件数

■組織的産学連携活動の取組事例

産学官連携活動を促進するための学内体制の整備に向けた取り組み

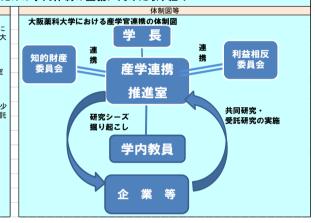
可能 不可

【取り組み内容】

1 本グ細の付合」 ・産学官連携を推進し、教育研究活動を通じて蓄積してきた研究成果を広く社会に 還元することを目的として、「大阪薬科大学産学官連携ポリシー」及び「大阪薬科大 学産学連携推進室規則」の制定した。

・上記、「大阪薬科大学産学連携推進室規則」に基づき設置する産学連携推進室 は、本学において産学官連携に積極的に取り組んでいる4名の教員を配置した。

本学では、学学連携による共同研究契約の実績はあるが、産学連携の件数が少ない状況にある。今後は、産学官との連携を一層強化し、さらなる共同研究や受託研究の推進に取り組む。



■産学連携活動の主な実用化事例

苦味と酸味が苦にならないナリルチンを多く含む『じゃばら食品』の開発

この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

「このが成れ、この方法のかられていななど、変し、 かが国のアレルギー疾患者数は国民の約半数はまで増加しており、アレルギー疾患は現代 の国民房ともいわれている。春のスネで形やヒノギモ的の飛散によるアレルギー症状に代 表される花物度で目のている人々は非常に多く。国民の人に入したも、シスに「入ともいわれ ている。また、花砂症による経済発気は年間5.00億円ともいわれている。相格だいで乗 実は、花粉症のは疾患やアドーセ度疾患に対する効果があるとの報告があり、非常に 注目されているが、摂取するとで、春飯相構造材の酸味や苦味が問題となって、摂取しる いという問題があった。また。最初で、日本のに無理なく摂取できる食品への応用が求め か大えて経滅されるという体験振もあり、日本のに無理なく摂取できる食品への応用が求め われていた。

・成果

大阪薬科大学と株式会社シャパラデボラ・リーは、共同研究により、相様ジャパラ県皮から抗
アレルギー用組成物を作る技術開発に成功(特許第523127年)しており、さらに苦み成分
も経済することに成功していた。また、同研究チームでは、ジャパラ県ナ中の有効成分ナリ
ルチン皇の李節推移についても研究しており、ナリルチン高含有のツィパラ県大き役してに成功していた。「特定非営利活動法人在状か」は、上記共同研究成果を基にして得られた
ジャパラ県東和東の原料を用いて、マフィン(ガト・ル・ナ・ジャパラ、スーパーリッチ)とジャパラ県大田の上の信息が高いました。
「総国オーム」と解析して、上記を紹介している。「大阪田村(はたみつじゃばらジャム)、濃縮飲料(最終)イブ・シトラス じゃばらジュース)、洗顔料(G)、洗腸オーム)と解析した。上記を見ぬは、ジャパラ県実特有の酸味や苦味が苦手な子供たちも好んで食べることができ、洗顔料も好評であった。

・実用化まで至ったポイント、要因

※ 不加になく生 ジェバイン・ 全級 様式会社 ジャンラデテリーの代表が研究生として大阪薬科大学に所属し、二人三脚で原 料の基礎研究を必ずに積み重ねたことが、応用製品の実用ににも大いて役立った。また、 応用製品の開発でも、大阪薬科大学・株式会社 ジャバラボデリー・特定非営利用動法人 花咲かの三者で配ご連接を収し、最設備の商に対するこだがりと、研究側が科学的に解 駅し解決策を提案することで、高度な商品開発が可能となった。

研究開発のきっかけ

「朝の地元というか」 株式会社シャパラテポテトリーの代表が、大阪薬科大学の卒業生であったため共同研究開 発を開始した。株式会社ジャパラテポテトリーの代表は、「特定非営利活動法人花咲か」の支 接者であったことから、三者での共同研究開発が始まった。

・民間企業等から大学等に求められた事項 研究開発での緊密な連携を求められた。

・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性 強い酸味と独特の苦味を感じることなくナリルチン高含有のジャパラ果皮および果汁を摂取できる食品であるため、酸味や苦味が苦手な子供達も好んで食べることができる。



・参考URL 平成25年度~27年度および平成29年度~31年度の和歌山県先駆的産業技術研究開発支援 事業の支援を受けた。 和歌山県有料県産品『プレミア和歌山』に認定された(ガトー・オ・ジャバラ)。

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項					

運営費交付金	百万円			
研究者数	257 名 実用化数 0 件			
窓口	越谷校舎総務課			
担当者	相樂 英里			
TEL	046-974-8811			
Email	ksoumu@stf.bunkyo.ac.jp			
産連HP	http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kksc/#			
シーズDB	https://gakujyo.bunkyo.ac.jp/scripts/websearch/index.htm			

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署 実務者当たり研究者数						数
	実務担当者数	3	名		86	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					•	

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
488373 7°C 11/10 11/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/1	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	6	0.023

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

未設定		契約雛形の条項に従う
	研究者あたり	不実施補償を求めない場合がある
0	0.000	原則、不実施補償は求めない
6	0.023	その他

出願数上位技術分野(2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G06	計算、計数	1

外部資金

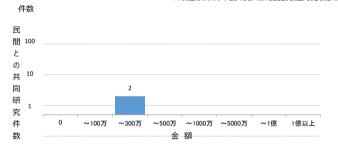
科研費			その他政府系資金	民間資金
金額 件数		(千円)	(千円)	
34,810 千円 29		29	9,225	3,617

	間接経費割合
ĺ	研究経費の10%

株式の	保有	新株予約	権の保有
有 無		有	無

■共同研究	2017年度		2018年	順位※		
■共四岍九	受入額(千円)	受入額(千円) 件数		順性公		
全体	2,001	1	3,081	2	ſ	位
民間企業のみ	2,001	1	3,081	2	ſ	位
大企業	2,001	1	3,081	2	ſ	位
中小企業	0	0	0	0	ſ	位

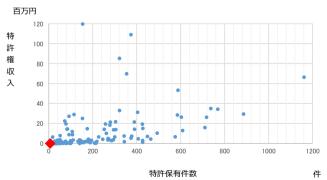
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度		2018年	度	順位》	·.
■又高い川九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位次	
全体	1,505	2	9,761	4		位
民間企業のみ	0	0	0	0		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	0	0	0	0		位



特許権実施等件数	0	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	0	



	. 1			
URA				URA当たり研究者数
	実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人)

	党人	派這
大学·民間企業以外		
民間企業		

クロアポ規定 有 無

企業とのクロアポ 可能 不可

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数			社			インキュベーション施設		
相談窓口			支援ファンド		有	無		
有	無		有		無	部屋数		件
設立ポリシー・推進計画			支援総額	į (Ŧ	一円)	利用件数		件
有	無							

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期				

組織的産学連携活動

,	産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
	内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期	引 3ヶ月以上6ヶ月未満
-----------	---	---	-----------	--------------

■組織的産学連携活動の取組事例

日本福祉大学

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項

運営費交付金	百万円							
研究者数	27	'6 名	実用化数	0	件			
窓口	企画政策部	上 画政策部企画政策課						
担当者	清水淳	青水淳						
TEL	0569-87-2972							
Email	sk@ml.n-	sk@ml.n-fukushi.ac.jp						
産連HP	https://www.n-fukushi.ac.jp/network/kyoutei-co/index.html							
シーズDB	http://www	.n-fukushi.a	ac.ip/about/universitv/pr	ofessor/index.html				

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実	務者当たり研究者	新数	
	実務担当者数	1	名		276		
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	
	※専門家を配置している				色で表示されます	•	

至:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記		0	
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)		0	
	共同研究の進捗管理とフィードバック		0	
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

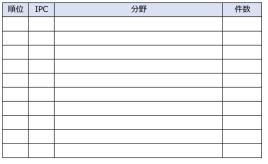
特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
488373 7°C 11/10 11/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/1	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	2	0.007

不実施補償の取扱					
契約雛形の条項に従う					
不実施補償を求めない場合がある					
原則、不実施補償は求めない					
その他					

不実施補償の取扱					
契約雛形の条項に従う					
不実施補償を求めない場合がある					
原則、不実施補償は求めない					
その他					

出願数上位技術分野(2018年公開)



外部資金

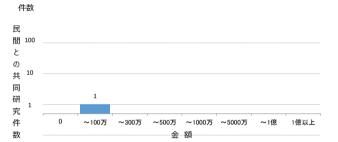
		科研費		その他政府系資金	民間資金
金額件数		件数	(千円)	(千円)	
83,200 千円 60		60	13,543	41,301	

I	間接経費割合
	10%以上15%未満

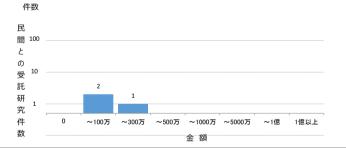
株式の保有		新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	度	順位※	
■共内圳九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	順位次	
全体	5,127	2	2,980	4		位
民間企業のみ	4,500	1	330	1		位
大企業	4,500	1	330	1		位
中小企業	0	0	0	0		位

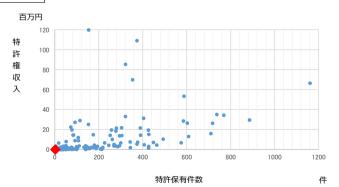
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度		2018年	度	順位:	·.
■文武师九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	//良1年3	^
全体	38,199	27	36,619	20		位
民間企業のみ	0	0	3,210	3		位
大企業	0	0	2,300	2		位
中小企業	0	0	910	1		位



特許権実施等件数	0	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	0	



- 2				
UI	R A	_		URA当たり研究者数
	実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

[※]各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

産学連携へのインセンティブ

/± -	FIELDS: NOT D COTT 10		
	インセンティブ設計あり	インセンティブ	設計なし
クロ	スアポイントメントの実績(人)	受入	派遣

大学·民間企業以外	
民間企業	

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数				社	インキュベーション施設			
	相談	窓口		支援	ファンド	有	無	
	有	無		有	無	部屋数	件	
	設立ポリシー	・・推進計画		支援総額	(千円)	利用件数	件	
	有	無						

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

生十日 生活と ロリこしにエタイトン	1 7 即以成小云
イベント名	実施時期

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究 0 件 平均(目安)交渉期間 9ヶ月以上1年未満
--

№ ノートルダム清心女子大学

基礎情報



連宮費交付金					白万円			
研究者数		94	名		実用化数		0	件
窓口	産学	連携セン	ンター					
担当者	北村	北村弥生						
TEL	086	086-252-2751						
Email	y_k	tmr@n	n.ndsu.ac	.jp				
産連HP								
シーズDB								

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実務者当たり研究者数				
	実務担当者数 1 名			94				
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他		
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。							

産*	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案	0		
	契約書での成果目標、達成時の明記	0		
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック	0		
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

発明者

研究者あたり

0.011

不実施補償の取扱

契約雛形の条項に従う

不実施補償を求めない場合がある

原則、不実施補償は求めない

※該当する業務は、赤色で表示されます。

特許出願・活用実績

職務発明の帰属

特許出願件数

大学

未設定

特許保	有件数		0	0.000			その他
					-		
		出原	頁数上位技術分	野(2018年公	開)		
順位	IPC			分野		件数	
							1

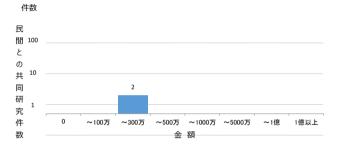
外部資金

科研費		その他政府系資金	民間資金
金額	件数	(千円)	(千円)
千円			0

間接経費割合		株式の保有 新株予約		権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

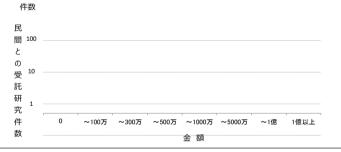
■共同研究	2017年度	2018年	順位※			
■共内岍九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	//RILL/X	
全体	1,650	1	2,750	2		位
民間企業のみ	1,650	1	2,750	2		位
大企業	1,650	1	1,650	1		位
中小企業	0	0	1,100	1		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

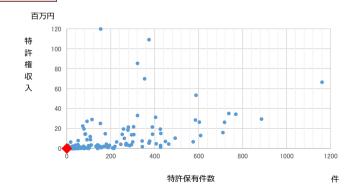


■受託研究	2017年度	2018年	順位※			
■文武师九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	//[尺1江 :	*
全体			200	1		位
民間企業のみ			0	0		位
大企業			0	0		位
中小企業			0	0		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数 実施等件数点たり 0 特許権実施等収入(千円) 0



UI	RA	<u> </u>	URA当たり研究者数	
	実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

[※]各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

産学連携へのインセンティブ

Ξ.	1 (E1)3 (0) 10 C0 / 10	
	インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数				社	インキュベーション施設		
相談	窓口		支援ファンド		有	無	
有	無		有	無	部屋数	件	
設立ポリシー	-・推進計画		支援総額(千円)		利用件数	件	
有	無						

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

T I I CONCINCIONE OF I	1 1 Min and (\$70.0)
イベント名	実施時期

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究 0 件	平均(目安)交渉期間	3ヶ月以上6ヶ月未満
---------------	------------	------------

-薬科大学

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項						

	_						
運営費交付金				百万円	_		
研究者数	59	名		実用化数		0	件
			J				
窓口総務課							
担当者	古賀久敬						
TEL	EL 092-541-0161						
Email syomu@daiichi-cps.ac.jp							
産連HP							
シーズDB							

産学連携担当部署の体制

産	学連携担当部署			実	務者当たり研究者	
	実務担当者数	3	名		20	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)		0	
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

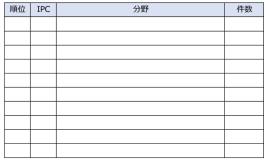
特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
4成分力七号(ジ)市(高	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	1	0.017

不実施補償の取扱					
契約雛形の条項に従う					
不実施補償を求めない場合がある					
原則、不実施補償は求めない					
その他					

不実施補償の取扱						
契約雛形の条項に従う						
不実施補償を求めない場合がある						
原則、不実施補償は求めない						
その他						

出願数上位技術分野(2018年公開)



外部資金

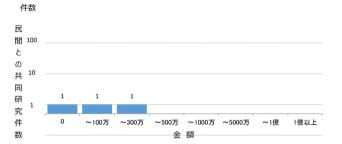
	科研費		その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
16,445	千円	14	4,834	13,750

間接経費割合
間接経費の割合を定めていない

株式の	保有	新株予約権の保有		
有	無	有	無	

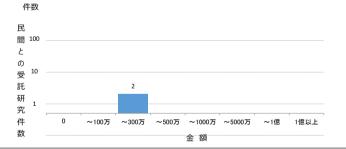
■共同研究	2017年度		2018年	順位※		
■共円切九	受入額 (千円)	件数	受入額(千円)	件数	川貝1江2	~
全体	2,800	2	2,750	3		位
民間企業のみ	2,800	2	2,750	3		位
大企業	1,500	1	2,500	1		位
中小企業	1,300	1	250	2		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

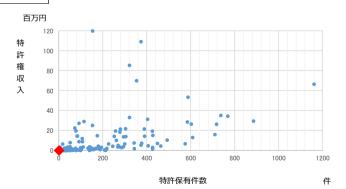


■受託研究	2017年度		2018年	順位※		
■又もいり九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	//民1江/	~
全体	4,354	2	5,834	3		位
民間企業のみ	1,000	1	3,000	2		位
大企業	1,000	1	2,000	1		位
中小企業	0	0	1,000	1		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数 実施等件数をたり 0 特許権実施等収入(千円)



URA			URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

産学連携へのインセンティブ

生于圧肪・ベクトクピンティク	
インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

	大学発ベンチャー数			大学発ベンチャー数 0 社			インキュベーション施設		
	相談窓口			支援ファンド		有	無		
	有	無		有	無	部屋数	件		
	設立ポリシー・推進計画		支援総額	(千円)	利用件数	件			
	有	無							

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

生 1 日を助と日前とのに上げ、	. 1 1 Hb 42 12011 22
イベント名	実施時期

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究 0 件	平均(目安)交渉	明間 6ヶ月以上9ヶ月未満
---------------	----------	---------------

「豊かな人間性の練成とすぐれた工業技術者の育成」を教育目標として、地域・産学連携センターを核に自由かつ独創的で自 主性に基づいた研究、産業社会のニーズに対応できる研究を促進し、その研究成果を積極的に社会に還元する。

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

工学的な技術とデザイン的な発想による課題解決を行う。工学的思考に基づく研究・開発によ る(ハード面からの) 最適化技術と、デザイン的思考に基づく調査・分析・企画・設計による(ソフ 、 ト面からの) 最適化戦略を、一体化・融合して相乗効果を生み出す。「日産自動車九州株式 会社との生産現場における課題解決型共同研究「京築ひのきのブランド化」

産学官連携活動において今後重点化したい事項

「地域を志向した大学」を目指して、地域自治体・産業界とのさらなる連携強化や、地域社会に -対する教育研究機会の提供を促進する。

地域に根ざした「デジタルものづくり」の拠点として、3 Dプリンタ、3 Dスキャナー、レーザーカッター など最新のデジタル機能を備えた「デジタルものづくりカフェ」や「計測・分析センター」を地域の企業 や教育機関へ開放していく。

運営費交付金		百万円					
研究者数	5	2 名	実用化数		2	件	
窓口	大学事務局	ā					
担当者	塩塚 祐載						
TEL	0930-23-1491						
Email	proj@nish	proj@nishitech.ac.jp					
産連HP	http://www	ttp://www3.nishitech.ac.jp/renkei/effort 2/index					
シーズDB							

産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実	务者当たり研究者	香数
	実務担当者数	2	名		26	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。		•		
40	立き十分	4h 0 7 98	보는	

生一	子理拐耒務丌担	性理 本部	10部省	グトか安式	
	共同研究等の企画・提案				
	契約書での成果目標、達成時の明記				
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0			
	共同研究の進捗管理とフィードバック				
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案				

※該当する業務は、赤色で表示されます。

特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
48X373756473V27170729	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	4	0.077

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

	不実施補償の取扱
	契約雛形の条項に従う
	不実施補償を求めない場合がある
	原則、不実施補償は求めない
	その他

出願数上位技術分野(2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	E04	建築物	1
2	H02	電力の発電、変換、配電	1

外部資金

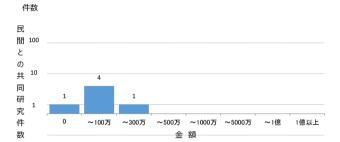
科研費			その他政府系資金	民間資金	
金額		件数	(千円)	(千円)	
7,800	千円	7		11,367	

I	間接経費割合
	10%以上15%未満

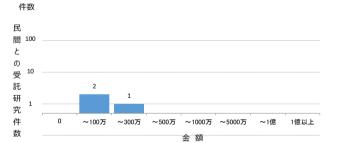
株式の	保有	新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	順位※		
■大川州九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位次	
全体	470	2	2,552	6		位
民間企業のみ	470	2	2,552	6		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	470	2	2,552	6		位

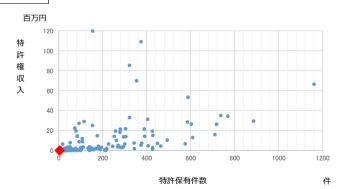
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度		2018年	順位※		
■文武师九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	//[尺1江 :	~
全体	1,939	4	1,507	3		位
民間企業のみ	1,939	4	1,507	3		位
大企業	540	1	432	1		位
中小企業	1,399	3	1,075	2		位



特許権実施等件数	0	実施等件数点たり
特許権実施等収入(千円)	0	



UI	R A			URA当たり研究者数
	実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

[※]各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

			_	
クロアポ規定	有	無		企業とのクロアポ

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数		1	社	インキュベ-	ーション施設		
	相談窓口 支援ファンド		ファンド	有	無		
	有	無		有	無	部屋数	件
	設立ポリシー	・・推進計画		支援総額	(千円)	利用件数	件
	有	無					

産学官連携を目的としたまたイベント・外部の展示会:

注す 日廷 あとしいこした エなー・シ	
イベント名	実施時期
西日本製造技術イノベーション2020	6月
エコテクノ2020	10月

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究 0 件	平均(目安)交渉期	月間 1ヶ月以上3ヶ月未満
---------------	-----------	---------------

■組織的産学連携活動の取組事例

日産自動車九州株式会社との生産現場における課題解決型共同研究

可能 不可

日産自動車九州株式会社(以下「日産九州」)とは、平成24年4月に産学連携協定 日産日朝年北州休祝茶店、IAT 日産北州ノビは、十九年十年月に生于産防御定 を締結し、大能職員の工学教育や、生産現場における課題を、本学の教員、学生 並びに日産九州の社員で解決する共同研究を行っている。 これまで、工場内で稼働する屋外用AGV(無人搬送車)の共同開発やAGVの状況

監視モニタリングシステムの開発に取り組むなど、産学連携での研究成果を挙げて

- トー・ 特にAGV状況監視モニタリングシステムは、第21回からくり改善くふう展2016・製 特にAGVの大流地でニテリングへ) AGL、第21回からりは含くかり返りのでき 造現場における「見える化」改善展2016に出展し、最優秀賞を受賞している。 また、平成31年3月に共同研究で開発した「AGV状態監視モニタリング技術」のラ イセンスを、日産自動車株式会社が、島根県に本社のある株式会社日本マイクロ システム)に当該技術を供与することを本学は承認しするなど、地域企業の技術向上や活性化に寄与している。



日産九州の工場内で稼働するAGV

■産学連携活動の主な実用化事例

京築ヒノキと暮らすプロジェクト

この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

山林整備や流通、担い手不足など地域林業が抱える国内に共通する課題

成果

知名度が低かった地域材である「京築ヒノキ」の認知が高まりつつある

実用化まで至ったポイント、要因

工業大学と女子大学による製品開発、地域家具作家が参加しながら本学石垣研究室により 京築ヒノキの名刺入れがデザインされた。イタリアミラノでの展示など広く国内外に紹介され たのをきっかけとして商品化に際しての量産体制も整備された。

概要

研究開発のきっかけ

2015年に福岡県農林事務所、森林組合からの依頼により2大学による地域材利用プログラ

・民間企業等から大学等に求められた事項

地域材を使用し小さなプロダクトからインテリア、建築に至る幅広い利用を想定したプロジェク トの実行

・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性

名刺入れの新しい使用方式と実現するためのマグネットヒンジの採用。天然乾燥檜材を指 初可能な家具作家により高度な加工技術を実現。量産化にあたり高度な加工機械を使用しコストダウンを実現した。



ファンディング、表彰等 参考URL

ウッドデザイン賞2017 ttps://chikurasu.jp

尚絅大学

基礎情報

大学の得意分野	野とその具体例
産学官連携活	動において今後重点化したい事項
運営費交付金	百万円
理呂貝文刊 並 研究者数	74 名 実用化数 0 件
训九1日奴	77 石 美用记数 0 打
窓口	庶務会計課
担当者	丸林 璃那
TEL	096-338-8840
Email	shomu@shokei-gakuen.ac.jp
産連HP	

産学連携担当部署の体制

シーズDB

産:	学連携担当部署	実務者当たり研究者数			香数		
	実務担当者数		名				
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公	認会計士	その他
		※専門家を	配置している	場合は、赤	色で表	長示されます	•
***	≒、 ・			产油	⊢±π/7	Ah立7 98	りがまれ

至:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)			
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

発明者

研究者あたり

0.000

0.000

不実施補償の取扱

契約雛形の条項に従う

不実施補償を求めない場合がある

原則、不実施補償は求めない

※該当する業務は、赤色で表示されます。

特許出願·活用実績

職務発明の帰属

特許出願件数

特許保有件数

大学

未設定

0

		出願数上位技術分野(2018年公開)	
順位	IPC	分野	件数

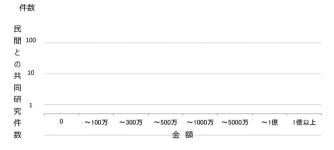
外部資金

科研費		その他政府系資金	民間資金
金額	件数	(千円)	(千円)
千円			0

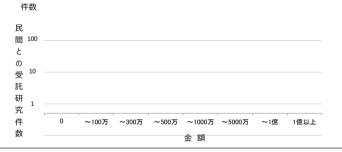
間接経費割合	株式の	保有	新株予約	権の保有
間接経費の割合を定めていない	有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	度	順位	·/
■共四岍九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	川貝1江2	~
全体			2,550	2		位
民間企業のみ						位
大企業						位
中小企業						位

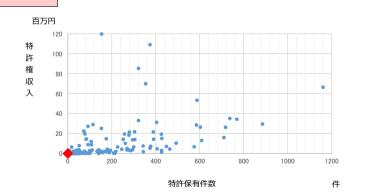
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度		2018年	度	順位》	·.
■又記いれ	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	/原位/	~
全体	1,950	2	0	0		位
民間企業のみ	0	0	0	0		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	0	0	0	0		位



特許権実施等件数	0	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	0	



URA			URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

クロスアポイントメントの実績(人)		受入	派遣
大学·民間企業			
	民間企業		

可能 不可

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ

■組織的産学連携活動の取組事例	

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数				社	インキュベー	-ション施設
相談	窓口	支援ファン		ファンド	有	無
有	無		有	無	部屋数	件
設立ポリシー	-・推進計画		支援総額	(千円)	利用件数	件
有	無					

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

イベント名	実施時期

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究		0	件
	内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究 0 件	平均(目安)交涉	歩期間
---------------	----------	-----

神戸女子大学

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項						

運営費交付金	百万円				
研究者数	173 名 実用化数 0 件				
窓口	学長室				
担当者	山西哲也				
TEL	078-737-2494				
Email	wu-eduprom@yg.kobe-wu.ac.jp				
産連HP	http://www.yg.kobe-wu.ac.jp/wu/guide/public-information/index.html				
シーズDB					

産学連携担当部署の体制

産:	学連携担当部署			実	務者当たり研究者	新数
	実務担当者数	2	名		87	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

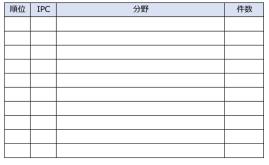
特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
4成分カテモ・グラマン7市/西	未設定	
1		研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

出願数上位技術分野(2018年公開)



外部資金

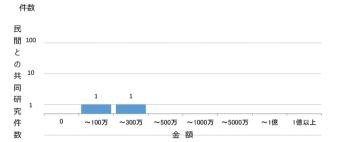
	科研費		その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
40,170	千円	39		10,770

間接経費割合	
10%以上15%未満	

株式の	保有	新株予約	権の保有
有	無	有	無

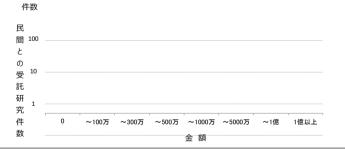
■共同研究	2017年度	2018年	順位※			
■共旧训九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	//尺11/2	~
全体	2,570	5	2,380	3		位
民間企業のみ	2,570	5	1,500	2		位
大企業	2,570	5	1,500	2		位
中小企業	0	0	0	0		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

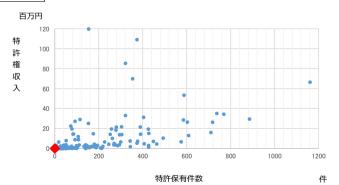


■受託研究	2017年度	2018年	順位※			
■又記別九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	//尺11/2	~
全体	300	2	0	0		位
民間企業のみ	300	2	0	0		位
大企業	300	2	0	0		位
中小企業	0	0	0	0		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数 実施等件数点たり 0 特許権実施等収入(千円)



URA		-	URA当たり研究者数
実務担当者数	0	0 名	

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

[※]各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可	

■組織的産学連携活動の取組事例

ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数			社		インキュベーション施設	
相談窓口		支援	支援ファンド		無	
有	無	有	無	部屋数	件	
設立ポリシー・推進計画		支援総額	支援総額(千円)		件	
有	無					

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

住 1日足156日前に075工な 1 つ	
イベント名	実施時期

組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満	Ì
-----------	---	---	------------	------------	---